

家庭学習の手引き（3年生）

◎家庭で学習する習慣を定着しよう

中学年になりますが、家庭で学習する習慣がしっかり身につけているとは言えない状況です。その日に出た宿題はその日のうちに終わるという習慣を改めてつけていきましょう。また、こういった基本的な習慣を自分自身で意識を持って学習できるようにしていきましょう。

◎取り組む時刻を決めて、やり続けよう

毎日決まった時刻に学習することはむずかしいことですが、「学校から帰って来たらすぐに始める。」「ご飯を食べてからする。」など、その日の予定に合わせて、自分で時刻を決めて学習できるようにしていきましょう。

◎学習環境を整えてから取り組もう

2年生の家庭学習振り返りカードの様子から、「机の上の整理整頓がされていない。」「テレビやゲームをする時間のルールを守れていない。」など、自ら学習環境を整えて学習に取り組むことにはまだ課題があることがわかってきました。注意力や集中力が散漫なまま、「長時間机の前にいる」というのではなく、「電気をつける」「テレビを消す」「机の上を片づける」など、自分で学習環境を整えてから始められるようにしていきましょう。

◎自主学習にも取り組みはじめよう

3年生では、低学年で身につけた学習習慣・生活習慣をさらに高めていきます。あたえられた宿題を確実にすることは基本ですが、今の自分の課題に合った学習を見つけ、「自主学習」にも徐々に取り組んでいけるようにしましょう。内容については、少しずつ指導していきます。見守りをお願いします。（内容の例）算数で苦手な問題、読書、教科書の視写、日記、社会や理科の調べ学習、意味調べ等

◎「10分×学年数（3）+10分」⇒「最低限40分」が家庭学習の目安です。

※あくまで宿題は家庭学習の一部です。

ただし、だらだら時間だけが過ぎれば「できた」と考えるのは、取りちがえです。集中していねいに、自分で決めた目標を少しずつ達成できるよう、学習していきましょう。

◎2年生までの時間割の合わせ方では、忘れ物がいっぱい！

3年生はこれまでになかった社会、理科、総合（「総合的な学習の時間」）、保健などの教科が加わり、毛筆セットや半紙、リコーダーなど学習用具も多くなります。国語・漢字・算数・計算ドリル・社会・理科それぞれノートもあるので、ランドセルからすべてを一度出し、きちんと時間割を合わせましょう。

手じゅん

1 学習の前にはすること

- ① 学校でもらってきたプリントなどを出して、家の人に見せる。
- ② テレビをけす、つくえの上をきれいにするなど、学習のかんきょうをととのえる。

2 学習にとり組む

まずしゅくだいから！

- ① 本読み（音読） … 国語では、その日に読むものをきめてあります。できるだけ家の人に聞いてもらいましょう。
- ② 国語（漢字）の学習など … 漢字ドリルや教科書をよく見て、ゆっくりていねいに書きましょう。
- ③ 算数（計算）の学習など … ひっ算は、じょうぎを使って線をひくなど、ていねいに正かくにしましょう。
- ④ 読書 … 持ち帰るタブレットの中にあるデジタル図書も使って、本を読みましょう。

自主（じしゅ）学習 ⇒自分で考えてすすめる学習。★これから、話をしていきます。

3 学習がおわってからすること

- ① ふでばこの中の物をそろえる。〔けずったえんぴつ5本・じょうぎ・けしゴム・赤えんぴつ〕
- ② 時間わりを合わせて、明日のよういをする。〔一度すべてのものを出して、いるものをそろえて入れる〕
- ③ 夜、ねるまでに時間わりをたしかめたら、朝もう一度たしかめる。 必要ないものは持ってこない

宿題に関する保々小学校の共通理解



保々小学校では、学力の定着と向上をめざすために、授業の充実と家庭学習の定着が学びを進める車の両輪となると捉えています。学校では教職員の校内研修の充実を図り、家庭には土日も含めた家庭学習の取り組みをお願いすることにしました。また、家庭学習については、各学期に1週間程度「家庭学習振り返り週間」を設け、保護者の方にも家庭学習に関心を持っていただき、お子様の頑張りを応援いただくようお願いしてきました。その結果、学年の目標時間はもとより、その内容を工夫するお子様が年々増えてきました。また、土日の家庭学習の充実を図るため、自主学習の取り組みを学級だよりなどで紹介するようにもしてきました。

家庭学習の取り組みは一年一年の積み重ねと捉えています。そのため、職員間で以下のことを共通理解と確かめ、裏面に各学年の家庭学習の手引きを掲載することにしました。各家庭のご協力を、お子様のためによりしくお願いします。

【宿題とは何か、何のために出すのか】

- ・宿題は『家庭学習の一部』と捉える。その日に学んだことの復習を基本の内容とします。
- ・学年が進むにつれ、量より質を大事にできる子を育てることをねらいとします。
- ・学ぶことは楽しい、わかることは楽しいということが小学校期にわかる子を育てていきたく思います。
- ・毎日の積み上げで、力をつけることができるようにします。

【宿題の内容と出し方】

- ・内容としては、漢字と算数は毎日の宿題に入っているようにします。
- ・量は、全員ができる量とこれだけはやって欲しい量を考えて出します。
- ・個別に内容や量を調整することはあります。
- ・時間の目安については引き続き「10分×学年数+10分」とします。(中学校1年生の段階で1時間以上集中して学習ができることが求められることから)
- ・目標時間に達しない子は、その時間を自主学習などに充てます。

【宿題をしてこなかった子への対応】

- ・「わからなかったからできなかった」という子もいます。忘れてきた理由を本人と確かめます。
- ・その理由によっては、学校で休み時間を使ってやらせることもあります。少なくとも、やらなくても・出さなくても「よし」とはしません。

【自主学習について気をつけたいこと】

- ・内容は、宿題や授業内容に関連したことを、話し合っって進めます。
- ・「自主学習とは、学力に結び付く内容である」ことを共通理解とし、例えば「文を書く力をつけたい」「まとめる力をつけたい」「わかりやすくまとめる、表す力をつけたい」など、「何のためにそれを自主学習としたのか」を子どもたちが意識できるようにします。
- ・自分で工夫しながら自主学習に取り組める子をめざして、発達段階に応じた形態をとるようにします。